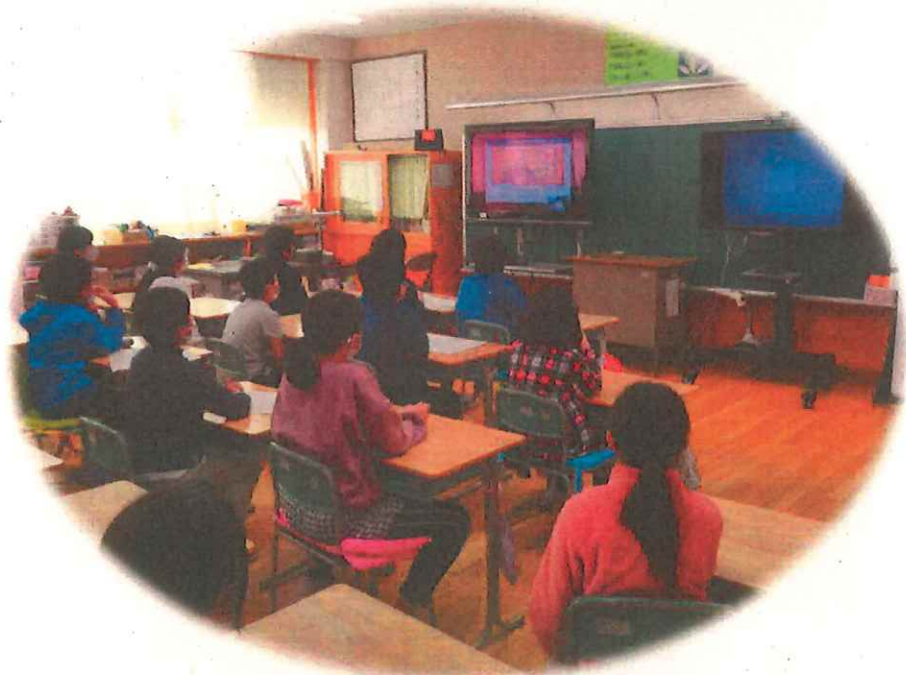


研究主題

他者と関わり、主体的に学び続ける児童の育成



令和4年8月17日
成田市立新山小学校
密本 歩未
山本 彩加

1 研究主題

他者と関わり、主体的に学び続ける児童の育成

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

学習指導要領では、総合的な学習の時間の目標を、

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

と定めている。また、総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力には、「複雑な現代社会においては、いかなる問題についても、一人だけの力で何かを成し遂げることは困難である。これは、協働的に探究を進めることが求められる理由である。探究的な学習においては、他者と協働的に取り組み、異なる意見を生かして新たな知を創造しようとする態度が欠かせない。」と明記されている。そこで、本校の実態を踏まえ、他者との関わりを重視した学習過程が必要であると考え、本主題を設定した。

(2) 本校の教育目標から

本校では、「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる児童の育成」という教育目標を掲げ、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」を目指す児童像としている。「やさしい子」には、「思いやりの心をもつ子」「協力し合う子」「善悪の判断ができる子」；「かしこい子」には「自分の考えを話せる子」；「たくましい子」には、「最後まであきらめない子」がある。このような児童の育成のためには、他者の考えや立場を理解し、関わろうとする積極的な心の動きが大切だと考える。さらに、それらを伝え合うことで、必然的に他者とは別の存在である自己を意識するとともに、自己、他者を理解でき、新たな課題を見つけあきらめずに探究する活動につながると考えた。他者との関わりから自己に気づき、他者の考えを互いに認め合い、課題を見つけ、調べ深める「学び続ける総合的な学習の時間」を研究していくことにより、本校の教育目標の具現化に繋がると考える。本校では道徳科を研究教科としている。よって、道徳学習の視点も取り入れて総合的な学習の時間を考えていき、学びを深めていきたい。さらに多くの児童が進学する中学校では、キャリア教育にも力を入れている。学び続ける児童の育成に取り組み、中学校にも引き継いでいくことで、地域の児童・生徒の学びがさらに深まることが期待される。

(3) 本校の児童の実態から

本校は、国際都市成田のニュータウン地区に位置している。創立45年の小規模校で、周辺には住宅地、ショッピング施設が多くある。児童は、戸建てに住む児童もいるが、主に県営住宅やアパート等に住んでいる。3世代家庭はほとんどなく、核家族家庭が中心で、一人親家庭が多い。さらに、国際色豊かで、中国、ネパール等、外国籍の児童も多くいる。理解し合うことの大切さ、言葉で伝える意味を学び、自分自身を振り返りながら主体的に課題を探究することが重要であると考え、本主題を設定した。

3 研究の仮説

仮説

総合的な学習の時間で、「課題設定」「整理・分析」の段階において、他者と関わる活動を工夫すれば、新たな課題を見つけ、主体的に学び続ける児童を育成することができるであろう。

主体的に学び続ける児童とは、

- ・課題を解決するために情報を収集し、それを他者と伝え合うことのできる児童
- ・計画を立てて、課題を解決することのできる児童
- ・進んで様々な人や物と関わり、自らの課題を解決することのできる児童
- ・自己や地域のよさに気づき、将来の夢や希望をもつことのできる児童

を考えている。

手立て① 学習過程の工夫とICTの活用

手立て② 他者との関わりの工夫

手立て③ 考えるための技法

手立て④ 振り返りの充実

4 研究の内容

①学習過程の工夫とICTの活用

学習指導要領から、始めに、年間指導計画を見直し、編成を行った。総合的な学習の時間と他教科を関連付けて行うことで、発達段階や成長過程を踏まえた内容を考え、指導計画の改善をした。探究的な学習サイクル①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現の中でも、「課題設定」「整理・分析」の段階で、どのように整理・分析をしていけばよいか戸惑う児童は多い。共通点や相違点を整理できないことなどが理由と考え、「課題設定」「整理・分析」の学習過程において、「思考ツール」を活用する。また、どの学習サイクルにおいてもICTの活用を位置づける。

②他者との関わりの工夫

【他者と関わりながら学ぶ体験活動】

学びを深め、さらに見出すことができる他者との関わりを意図的に取り入れる。

○異学年（1年→2年、3年→4年、5年→4年）

○異地域の小学生

【関わりを取り入れる段階の検討】

児童の実態や、効果的と思われる学びの段階に他者と関わり、学びを深めたり新たな課題を見出したりする。

○地域や物、人に触れ、そのよさや不思議さに気付く段階

○自らの学びを深める段階

○学びを広げる段階

③考えるための技法

思考ツールを使う際にタブレット端末上のアプリケーション「ロイロノート」（共有ノート）を使い、自分の考えや友達の考えを共有しながら整理・分析を行った。「ロイロノート」は、画面上で友達の考えを共有できるため、「課題設定」や「整理・分析」が苦手な児童でも友達の考えを参考にし、自分の考えをもつことができる。

④振り返りの充実

学び続けるサイクルによって、理解や学びの深まりを認識できるよう振り返りを丁寧に行う。また、伝え合うことができるようになったり、相手のことを意識するようになったりと、自身のキャリアの変容も振り返ることができるようにする。学習のはじめに作成したイメージマップと同様のものを単元末に行ったり、当初のものに書き加えていったりし、理解や学びの深まりを実感できるようにする。

5 研究の実際

(1) 単元名 ふるさと千葉県 (4年生)

(2) 単元の目標

【知識及び技能】

- ・身近にある千葉県のよさを見つけ出し、それぞれの地域には特徴があることを理解することができる。
- ・課題の解決の方法や手順を考え、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・目的に応じて、必要な情報を集めることができる。
- ・調べた情報を関連付けたり、比較・分析・分類したりして、伝えたい情報をまとめることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・友達と協力して活動に取り組もうとしている。
- ・交流会を通して千葉県のよさを感じ、県への愛着を深めようとしている。

(3) 単元の計画 (30時間)


	学習過程 (時間数)	活動内容と学習活動	指導・支援 ○評価【方法】
第一次プロジェクト	課題の設定 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県はどのような県なのか話し合う。 ・地域別にグループを編成し、計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている情報を出し合う。 ・その地域で働いている人にも目を向けさせる。 ・千葉県マップを参考に、10の地域にグループ分けをして学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 千葉県HP・インターネット ● ロポート(考え共有) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○千葉県の魅力を考えようとしている。【ワークシート】
	情報の収集 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する地域について調べる。 (インターネット・インタビュー・本・パンフレット等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ担当地域の魅力やそこで働く人の思いを調べる。 ・学級の友だちが千葉県の魅力に気づけるよう、知られざる魅力を調べるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● インターネット(各市町村HP等) ● ロポート(共有ノト)・Jamboard </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の担当に適した資料を収集している。【行動観察, ノート】 ○千葉県のよさを調べている。【行動観察, ノート】
	整理・分析 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集したデータを精選し、スライドにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadのiMovieを使って映像を作成する。 ・1グループ4枚、1分の時間設定を設けて作成する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● iMovie・Googleドライブ保存 ● ロポート(共有ノト) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の担当する地域の特徴を見つけ、整理・比較等している。【行動観察, ノート】 ○友達と協力して、資料を作成している。【行動観察, スライド】

	まとめ・表現 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・学級内で発表をする。 ・学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループずつ動画を流し、コメントをもらう。(アドバイス等) ・自分たちの映像を見て振り返りを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・iMovie映像 TV投影 ・レポート(感想交流) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の地域のよさが伝わるスライドを作成し、発表している。 【行動観察, 発表】 ○それぞれの地域のよさを見つけ、比べながら発表を聞いている。 【行動観察, 振り返りシート】
<p>第1次プロジェクトでは、学習のきっかけとして、千葉県のことについて知らないことや分からないことが多いことに気づかせ、学習意欲につなげた。また、千葉県のことをまずは自分たちが知ろうということで、第1次プロジェクトでは、学級内で互いに発表することをゴールとした。</p> <p>発表のあと、他の都道府県はどうかという疑問が出たので、昨年度も交流があった北海道との交流会を最終ゴールとして設定した。千葉県が身近でない人へ、魅力を伝えるためにはどうしたらよいか考えながら第2次プロジェクトが始まった。さらに、千葉県にはたくさんの魅力があることに気づいたことで、誰かに発表して知らせたいという意欲も高まっていた。</p>			
第2次プロジェクト	課題の設定 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の振り返り、県外の人への伝え方を話し合う。 ・資料の加除訂正を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアドバイスを振り返り、県外の人へ伝えるにはどうしたらよいかグループで相談して計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・iMovie・レポート ・発表映像(振り返り資料) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○改善点を見つけ、計画を立てようとしている。 【行動観察, ワークシート】
	情報の収集 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する地域について足りない部分を調べる。(インターネット・インタビュー・本・パンフレット等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の魅力がより伝わるよう台詞を書き直したり、調べたりない部分を調べたりする。 ・どうしてその魅力が維持されているのかにも目を向けさせ、働いている人の思いに触れるよう支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット(各市町村HP等) ・レポート(共有ノート)・Jamboard </div> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と協力して、改善点を話し合っている。【ワークシート, ノート】 ○自分の地域にあった情報を調べ、整理・分析している。 【行動観察, ノート】
	整理・分析 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集したデータを精選し、映像にまとめる。 ・グループ同士で聞き合ったり見合ったりして映像を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスタ임을設け、グループ同士で見合ったり、感想を聞き合ったりする時間を作る。 ・発表の観点、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・iMovie ・レポート </div> <ul style="list-style-type: none"> ○相手を意識して、動画を作成している。 【行動観察, 作品, 発言】

<p>まとめ・表現 (3)</p>	<p>・北海道の4年生に発表をする。</p> <p>・学習の振り返りをする。</p>	<p>・北海道の4年生と交流会をする。</p> <p>・それぞれの地域の発表やクイズを交えて、魅力について伝える。</p> <p>・学習の振り返りをして、活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ZOOM</p> <p>・ロイロノート(振り返りアンケート)</p> </div> <p>○千葉県よさを相手に伝えようとしている。 【発表, ノート】</p> <p>○道県の違いを考えながら交流会に取り組んでいる。 【行動観察, 発表, ノート】</p>
-------------------	---	--

【今回使用したアプリケーションについて】


ロイロノート



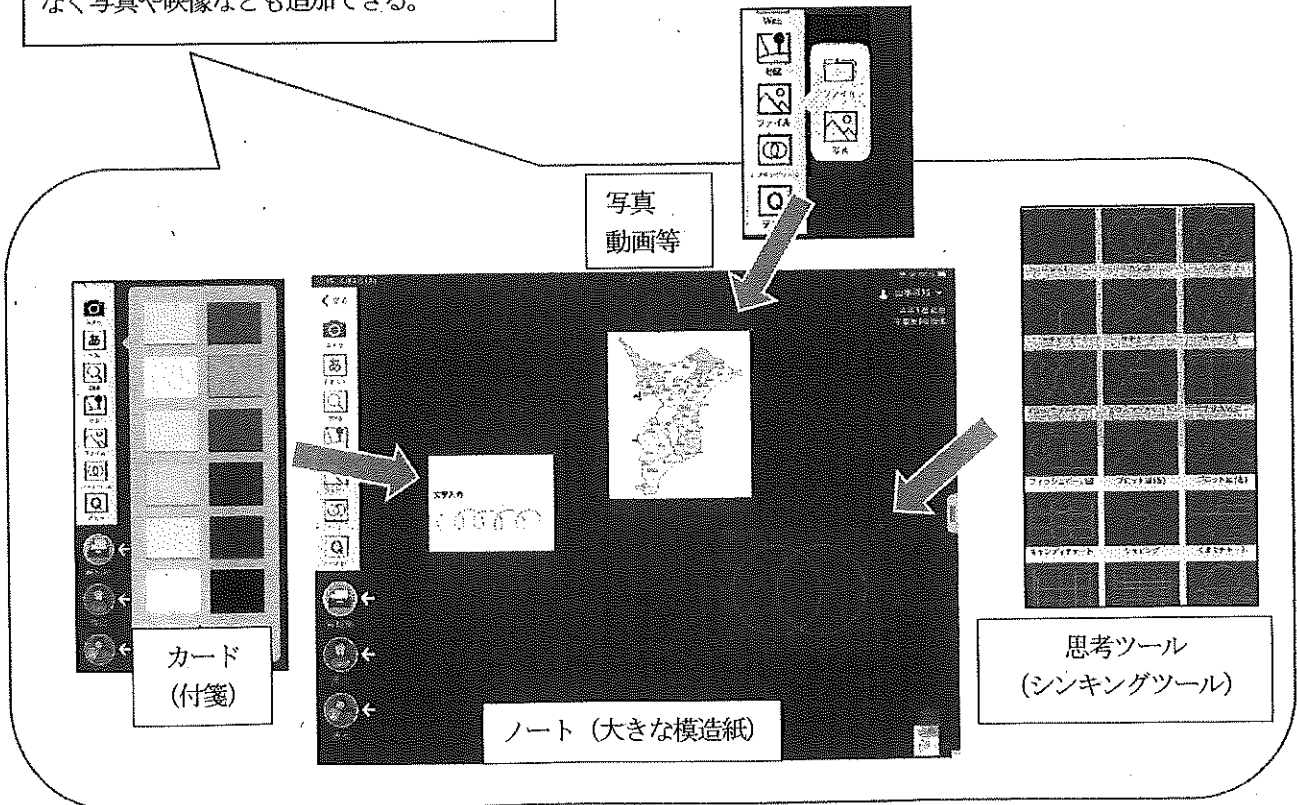
調べた情報や考えをまとめたり、それらの情報を友達と共有したり、スライドを作ったりすることができるアプリ。また、作成したカードを蓄積して振り返りにも役立てることができる。さらに、思考ツールカードが事前に18種類含まれており、情報を整理することも可能。

各自作成したノートには、カードと呼ばれる付箋を追加していく。そこには、文字だけでなく写真や映像なども追加できる。

iMovie



Apple 製品で使用できる動画編集アプリ。写真や映像を手軽に1本の動画にできるアプリ。曲をつけたり、声を録音してつけたりすることができる。感覚的に操作ができ、子どもでも、簡単に動画を作成することができる。

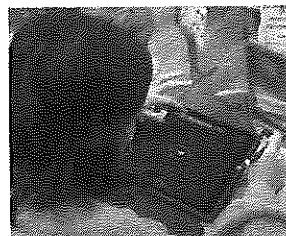


(3) 学習の様子

【課題の設定】

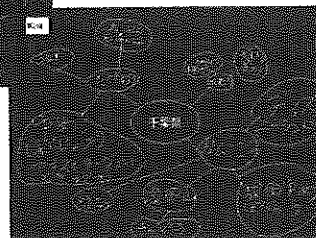
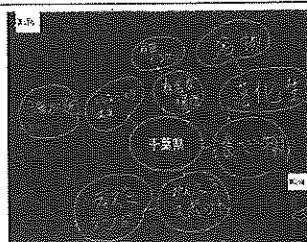
社会科の都道府県の学習から発展させ、千葉県について知っていることを書き出し、話し合った。思考ツール（ウェビングマップ）を使い、関連づけながら考えられるようにした。

ロイロノートで自分のカードを提出し、学級で共有することで、知らないことがありそうだというきっかけ作りを行った。また、考えることや書くことが苦手な児童において共有することは思考の手助けとなった。



子どもが書いたカードには、身近な場所や旅行等で行ったことがある場所についての記載が多く、共通している部分がたくさんあった。そこで、これだけなのか？という質問をし、疑問を持たせた。すると、有名な鉄道がありそう、海も有名なのではないかという発言があった。

学級全体で、千葉県のHPを見て10の地域に分かれること、それぞれに特色がありそうだとこのことを確認した。また、タブレット端末を使ってまとめたいという児童の願いを合わせて、PR 動画作りをまとめの形にした。

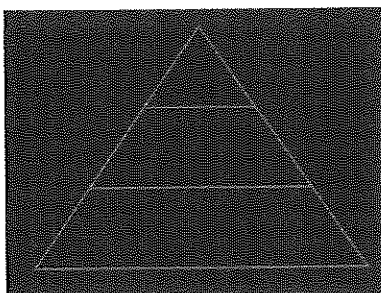
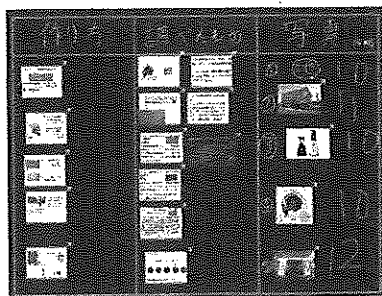


【情報の収集】 【整理・分析】

共有ノートを使ったり、生徒間通信の機能をONにしたりして、グループごとに情報を共有した。そうすることで、グループ内でも分担をして調べたり、情報を持ち寄ったりして情報を集めることができた。

また思考ツールを各グループで駆使しながら、情報整理に役立てていた。自分たちの目的に適した思考ツールを選び、ルールを決めて活用し力が高まった。

活用が多かった思考ツール



※共有ノート

1つのノートに指定した児童が入ることができ、複数人で編集可能。

情報共有や情報をまとめる時に使うと効果的。

※生徒間通信機能

生徒同士のカード（文字や画像等）のやり取りが可能。また、記録は全て教師からも見ることができ安心。

【映像作成】

かんたんだね！映像を見ながら録音できるんだね！

セリフはこれでいいかな？ぼくが最初に録音するね。

説明の文字を入れた方がいいね。あと少し時間を長くしたらどうかな？

イメージできるように他市町村のPR動画を参考にした。

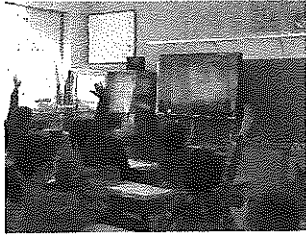
背景の色を変えると見やすくなるよ。

1グループ4枚の写真と1分以内の長さという制約を設け、動画作成を行った。とても簡単な操作で作成できるので、自分の力でできたり考えや思いが表現できたりする。そのため楽しく活動でき学習意欲やもっとこうすればよいのではないかという学びの意欲につながった。さらに、互いの映像を見る途中試写会を設けたことで、比較し改善するような主体的な態度にもつながった。

【まとめ・表現】

Googleドライブの共有ドライブにiMovieの完成データを保存し回収し、つなげた。(今回は全てiMovieで編集)

映像は、書き出し作業を行い回収。同じソフトを使うことで、集約しやすく、互換性等も気にせず行えるのでよかった。



【交流会の内容】

- ・千葉県の紹介
- ・北海道遠軽地域の紹介
- ・学校紹介（北海道と千葉県の違い）
- ・質問コーナー・クイズ大会
- ・外の風景や服装の違いなど

【振り返り】

- ・お礼の手紙を書き、事後交流を行った。
- ・振り返りシートを書いて、単元を通した振り返りを行った。

(児童の振り返りシートより)

グループで意見を言い合いながら、動画を見直してよりよいものを作れました。これからも、日本について調べたいと思いました。

北海道の4年に千葉県の魅力が伝わるように動画を作成した。グループ全員の意見をよく聞きながら話し合いをしたのが心に残った。

細かい情報をたくさん調べて、わかりやすく伝えるように言葉や写真を選ぶことががんばりました。これからも、この学習を生かしてがんばりたいです。

千葉県には知らないことがたくさんあったので驚きました。海や歴史などここにしかないものもあったので、調べてよかったです。自分たちらしい動画も作れました。

振り返り

(26名)

項目	評価	よくできた	できた	あまりできなかった
自分で課題を見つけて、解決するように工夫することができたか。		33%	50%	17%
ペアやグループで協力して取り組むことができたか。		58%	29%	13%
よりよいものを作成するために、見直ししながら作品を作ることができたか。		83%	17%	0%
千葉県の魅力を伝えるために、進んで調べたりまとめたりすることができたか。		67%	33%	0%
学習すべてを通して、進んで参加したりじっくり考えたりしながら取り組むことができたか。		46%	50%	4%

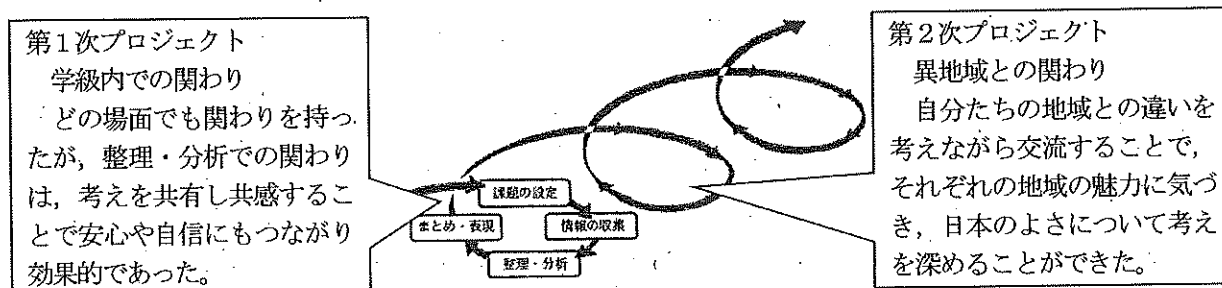
6 仮説の考察

手立て① 学習過程の工夫とICT活用

社会科で行った千葉県の学習をきっかけとし、千葉県についてより詳しく調べることができた。また、自分の県を知ることで、誰かに伝えたいという意欲付けとなり、第1次プロジェクト、第2次プロジェクトと設定しゴールを明確にすることで、情報収集の仕方や動画作成の仕方など学んだことを生かす機会を設けられ、主体的に学ぼうとする姿勢が増した。

また、どの学習過程においてもICTを適宜活用することで、学級内やグループ内で視覚的に共通理解を図ることができ、大きな差が生まれ「わからない」という子を作ったりすることなく学習を進めることができた。カードが蓄積されることで見返すことができ、自分で調べて解決する思考が生まれた。

手立て② 他者との関わりの工夫



他者との関わりを持つことで、自分にはない考えに気づいたり新しい発見につながったりした。特に、「課題設定」「整理・分析」の段階では、情報をなかなかまとめられなかったり取捨選択が難しかったりする場面も多くあったため、より効果的であったと感じた。個別に支援が必要な児童にとっても、グループでの関わりや学級内での関わりを経験することで見通しが持て、第2次プロジェクトに取り組むことができた。さらに、情報収集の場面でも他者（企業の方・地域の方）との関わりを工夫していくとより深い学習につながると思う。

手立て③ 考えるための技法（思考ツールの活用）

思考ツールの活用により、自分の意見を整理してわかりやすく表現することができた。また、ロイロノートの共有機能を使うことで解決への手助けになったり学びを深め合ったりすることができた。

それぞれの思考ツールには使用の仕方があるが、第2次プロジェクトではロイロノートに入っている18種類の思考ツールを、自分たちで選び活用した。活用方法について柔軟に考え、目的にあった思考ツールを選び活用しているグループも多く見られた。また、それらをさらに共有することで刺激となり、主体的に学ぶ姿勢につながった。

手立て④ 振り返りの充実

振り返りシートを書き、学習を振り返ることで次回の意欲付けにもつながった。その時間内に終わらなかった部分も明確になり、提出日までの見通しを各グループや個人で持つことができた。また、学習最後の振り返りでは、「よくできた」「できた」の割合が多く主体的に学習に取り組むことができていたことがわかった。「あまりできなかった」と回答した児童に対しては、課題をどれだけ自分事として捉えさせ、前向きに取り組めるような工夫をしていくことが必要である。

7 研究のまとめ

(1) 研究の成果

- ・年間指導計画を見直したことで、教科等を超えて主体的に学習することができた。
- ・他者（学級内・異学年など）への発表を通して、自分の意見や考えに自信を持てる児童が増えた。
- ・「課題の設定」や「整理・分析」の場面で、思考ツールを活用することは、課題の解決や見通しを持つこと、自分の意見を整理することに効果的であることがわかった。
- ・タブレット端末を使用することで、インターネット上の情報の取捨選択・整理分析の力が高まった。

(2) 今後の課題

- ・今後も年間指導計画を見直しながら学校全体を通して、系統的に指導していく必要がある。
- ・目的意識を持たせるためのゴールの設定は工夫する必要がある。毎年、発表相手を見つけたり、新しく探したりすることには限界があるので、継続できるゴールを検討していく必要がある。
- ・課題を自分事として捉えられるような単元計画やゴールの設定を工夫していく必要がある。
- ・他者との交流（企業や専門家等）の充実を図り、より課題や目的に迫った学習計画を工夫していく必要がある。

参考文献：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』 文部科学省
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 総合的な学習の時間】』
国立教育政策研究所教育課程センター
『新学習指導要領の展開 総合的な学習の時間編』田村 学 編著
『生活・総合「深い学び」のカリキュラム・デザイン』田村 学 横浜市黒船の会

使用したアプリケーション：ロイロノート

iMovie

資料編

- ・ 年間指導計画一覧表
- ・ 3～6年 年間指導計画
- ・ 3～6年 単元配列表

令和4年度

総合的な学習の時間 年間指導計画一覧表

つきたい力

- ・課題を解決するために情報を収集し、それを他者と伝え合うことのできる力
- ・計画を立てて、課題を解決することのできる力
- ・進んで様々な人や物と関わり、自らの課題を解決することのできる力
- ・自己や地域のよさに気付き、将来の夢や希望をもつことのできる力

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3年生	Let's ローマ字・目指せ!! パソコンマスタ											
3年生	<p>発見!身の回りのはたらく人 課:身の回りの働く人に興味持つ 情:見学・体験等で調べる 整:新聞等にまとめる 表:調べたことを発表する</p>											
4年生	<p>リサイクル大作戦 課:社会科見学をもとに課題設定 情:見学・調査等 整:新聞・ポスター等にまとめる 表:校内発表をする</p> <p>ふるさと千葉 課:千葉県の魅力について話し合う 情:調査・インタビュー等 整:新聞・ポスター等にまとめる 表:調べたことを発表する</p> <p>6年生に感謝を伝えよう</p>											
5年生	<p>小見川宿泊学習</p> <p>未来予想図Ⅰ 課:身近な職業に興味を持つ 情:調査・インタビュー・体験 整:発表(交流)の準備 表:発表会を開く</p> <p>よりよきリーダーを 目指して</p>											
6年生	<p>未来予想図Ⅱ 課:興味を持った職業にしぼる 情:調査・インタビュー・体験 整:発表(交流)の準備 表:発表会を開く</p> <p>成田のよさを見つけよう</p> <p>よりよい新山小をつくらう</p>											

第 3 学年 総合的な学習の時間 年間計画

目 標	<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>〈3つの要素〉</p> <p>① 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解するようにする。 【知識・技能】</p> <p>② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③ 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
----------------	--

学 期	単元名	活動内容	時 配
前 期	「Let's ローマ字」 (4・5月)	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベットを知る。 ○平仮名をローマ字で書いたり、正しく読んだりする。 ○ローマ字で自分の名前を書いたり、文を書いたりする。 →国語科と連携する。 	15
	「目指せ！！ パソコンマスター」 (6・7月)	<ul style="list-style-type: none"> ○キーボードの使い方を知り、ローマ字入力を体験する。 ○自己紹介のカード(名前・誕生日・好きなことなど)を作る。 ○タブレットの使い方を理解し、写真を撮る。 ○植物の観察カード作りでタブレットを活用する。 →理科と連携する。 	15
後 期	「発見！身の回りの はたらく人」 (1) スーパーの仕事 (9・10月)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 ○学習のゴールとして、3学期に「見つけたよ、はたらく人発表会」を開き、保護者に発表することを伝える。(学習参観に合わせる。) ○身の回りで働く人に関心を持ち、自分の家など身近な場所にどのような仕事があるかを知る。 ○スーパーマーケットを見学する。 ○スーパーマーケットを見学し、働く人の様子を調べ、わかったことを新聞にまとめることができる。 	2 8
	(2) 警察署の仕事、 消防署の仕事(選択) (11・12月)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの暮らしの安全を守っている仕事について知る。 ○消防署の見学をする。 ○消防署の見学をしてわかったことや気付いたことを整理し、オクリンクを使って4年生に発表する。 →社会科と連携する 	15
	(3) 調べたことを まとめ、発表する。 (1・2・3月)	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの働く人について調べたことを模造紙にまとめ、発表の準備をする。 ○「見つけたよ、はたらく人発表会」を開く。 ○学習してきたことを振り返る。 	15

第 4 学年 総合的な学習の時間 年間計画

目 標	<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>〈3つの要素〉</p> <p>① 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解するようにする。 【知識・技能】</p> <p>② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③ 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
----------------	--

学 期	単元名	活動内容	時 配
前 期	リサイクル大作戦	① 資源ごみとして集められた後の行方について調べよう。 ・缶、ペットボトル、ダンボールの3つのグループに分かれて、図書室やインターネット等で調べる。	3
		② リサイクルがどんなことに役立っているのかグループで調べる。	5
		③ 自分たちでできるリサイクルについて話し合う。(各家庭に呼びかけてペットボトルや空きかんなど)	2
		④ 校内のリサイクル活動に取り組む。	8
		⑤活動したことをグループごとにまとめ、発表の準備をする。(ポスター、新聞、パワーポイント等)	5
		⑥活動したことを発表し合いまとめをする。	5
後 期	ふるさと千葉県	①千葉県の様子を調べる。	2
		②自分が調べてみたいところを決めてグループ作りをする。	1
		③調べたことをグループごとにくわしく調べていく(市町村の様子、住んでいる人の願いや特徴、大切にしているもの、まつり、ゆるキャラ他等)	3
		④調べたことをグループごとにまとめ、発表の準備をする。(ポスター、新聞、パワーポイント等)	20
		⑤活動したことを発表し合いまとめをする。	10
後 期	6年生に感謝の気持ちを伝えよう	①6年生との関わりについて話し合う。	2
		②自分たちにできることについて話し合い、計画を立てる。	4
		③企画したことを実行する。	2
		④アンケートなどを実施し、活動を振り返り次につなげる。	2

第 5 学年 総合的な学習の時間 年間計画

目 標	<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>〈3つの要素〉</p> <p>① 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解するようにする。 【知識・技能】</p> <p>② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③ 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
--------	--

学 期	単元名	活動内容	時 配
前 期	未来予想図 I ～職業を調べよう～	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な職業に興味を持つ。 ・調査・インタビュー・体験活動を行う。 ・動植物検疫教室。 ・発表（交流）の準備をする。 ・発表会を開く。 	3 10 3 20 2
後 期	よりよきリーダーを目標して	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を送る会（実行委員会発足） ・全校での活動の計画を立てる。 （6年生紹介・出し物・バトンの引き継ぎ） ・当日の運営 ・振り返り ・6年生卒業後の学校生活（委員会・清掃）の補助内容の決定 	2 22 4 2 2

第6学年 総合的な学習の時間 年間計画

目 標	<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>（3つの要素）</p> <p>① 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解するようにする。 【知識・技能】</p> <p>② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>③ 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
----------------	--

学 期	単元名	活動内容	時 配
前 期	未来予想図Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味を持った職業について調べる。 ・調べた職業について就職するために必要なことをまとめ未来予想図を作る。 ・発表の準備を行う。 ・まとめたものを発表したり、発表を聞いたりして、将来への見通しを持つ。 	2 6 5 6
	成田のよさを 見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市の良いところについてどのように調べたらよいか話し合う。 ・活動班ごとに分かれ、図書室の資料やインターネットで調べたり、家族や地域の方にインタビューしたりして資料を集める。 	3 7
後 期	成田のよさを 見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをまとめ、発表の練習を行う。 ・活動班ごとに分かれ、調べ方やまとめ方について話し合う。 ・インターネットなどで資料を集める。 ・集めた資料をもとに、まとめる。 	3 3 4 10
	よりよい新山小を つくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・新山小学校のために自分たちでどのようなことができるか話し合う。 	3
	よりよい新山小を つくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことをもとに、主体的に取り組む。 ・感謝の気持ちを伝える方法を話し合い、ありがとうの会の計画を立てる。 ・話し合ったことをもとにして役割分担をし、グループごとに活動を行う。 	4 4 10

